



▲山西横穴群第1号墳の現況



## 埋蔵文化財包蔵地 山西横穴群

# History

## キラリを再発見

### よこあなぐん 菊川流域の横穴群

横穴とは、粘土質の丘陵の斜面にトンネル状に掘り込まれた古墳の一種です。土を盛って造られた墳墓ではありませんが、山を墳丘に見立てた古墳とも言えるでしょう。横穴の奥行は3～5mほどで、出入口から内部に向かって狭く低い通路があり、その奥に亡くなった人の遺体を取める玄室と呼ばれる部屋があります。出入口は、遺体を埋葬した後に、石を積んで封鎖されます。

山西横穴群は新野地区山西にあり、2基が並んで位置していますが、1基しか開口していません。御前崎市域にあるため、新野川上流右岸に位置しているように見えますが、山西の地名からも分かるように、実は新野川流域と菊川流域を分ける丘陵の西側にあり、菊川市高橋地区に開く谷の奥に立地していることから菊川流域の横穴群と言われています。

# Atomic

## 暮らしと原子力

### 浜岡原発に新たな研究所設置

中部電力は、東京電力福島

第一原子力発電所の事故を踏まえ、原子力発電所のさらなる安全性の向上と運営の改善に資するため、7月1日、浜岡原子力発電所敷地内の建屋に『原子力安全技術研究所』を設置しました。

浜岡原子力発電所の現場を有効に活用し、現場ニーズを的確に反映した上で、原子力エネルギーを将来にわたって安全利用していくための専門的な研究施設で、今後は、原子力の他にも地震や津波、防災の専門家がアドバイザーとして招へいされる予定です。

【主な研究テーマ】  
①原子力発電所の安全性の向上

機器・設備の故障を未然に防止する研究や地震・津波観測データなどを発電所運営

管理に適用する研究

②浜岡原子力発電所1、2号機の運営(廃止措置)の改善

廃止措置の安全かつ円滑な実施を図る研究

③浜岡原子力発電所3、4、5号機の運営の改善

機器・設備の保守・作業性の向上を図る研究

④将来の技術

新型原子炉や次世代原子燃料サイクルの技術開発に資する研究

さらには、これまでの共同研究や委託研究に加え、新たに公募研究を実施することで、大学や研究機関と密接な連携を図り、技術研究に取り組むこととしています。公募研究は、原子力の安全性向上や将来の技術に関する研究などを広く公募し、2013年度から研究が開始される予定です。